

令和8年度1学期始業式（全日制） 校長講話

皆さん、おはようございます。

新しい学年が始まりました。皆さんの元気な顔を見ることができて嬉しいです。

そして、校内にはどこか引き締まった空気と、これからの時間への期待が静かに満ちているように感じられ、いよいよ新学期が始まるんだなあと私自身、気持ちを新たにしています。

始業式というのは、大きな節目である入学式や卒業式に比べれば、いわば日常の延長にある一日かもしれません。しかし私は、この「日常の中の節目」こそが、とても大切だと思っています。なぜなら、人の成長は、特別な一日ではなく、こうした日常の積み重ねの中で形づくられていくからです。

さて、皆さんに一つ、考えてほしいことがあります。

それは、「当たり前のことを、どこまで丁寧に続けられるか」ということです。時間を守ること。授業に向き合うこと。課題をきちんと提出すること。友人や周囲の人に対して誠実であること。どれも特別なことではありません。しかし、この“当たり前”を軽んじずに続けることは、決して簡単なことではありません。

むしろ、こうした日々の積み重ねこそが、皆さん自身の力となり、やがては大きな差となって現れます。結果は、ある日突然現れるように見えて、その実、長い時間をかけて静かに準備されているものです。

ときには、努力してもすぐに成果が見えないこともあるでしょう。思うようにいかず、立ち止まったように感じることもあるかもしれません。しかし、その時間は決して無駄ではありません。目には見えなくても、確実に皆さんの中に力は蓄えられています。

大切なのは、周囲と比べて一喜一憂することではなく、「昨日の自分よりも一歩前に進めているか」を見つめることです。

一学期は、これからの一年の土台をつくる時期です。ここでの過ごし方が、その後の歩みに大きく影響します。だからこそ、今日という一日を、何となく始めるのではなく、自分なりの意思をもってスタートしてほしいと思います。

学校は、学力を身につける場であると同時に、人としての在り方を学ぶ場でもあります。互いを尊重し、言葉を大切にし、安心して過ごせる環境を、皆さん自身の手で築いていってください。

最後に。未来は、遠くにある特別なものではありません。皆さんが今日、どのように一日を過ごすか、その積み重ねの先にあります。3年生は、あと200日ちょっとで、自分自身の進路を定めて卒業します。2年生は卒業まで500日弱です。一日一日を大切に過ごしてください。

この一学期が、それぞれにとって実りある時間となることを期待して、始業式の話とします。